

1

化学反応に関する次の記述のうち、下線部が誤っているものはどれか。

1. 熱運動する気体分子の平均的な速さを大きくすると、一般に反応速度は大きくなる。
2. 反応により乱雑さが増加する場合には、吸熱反応でも自然に進行することがある。
3. 触媒は反応の活性化エネルギーを減少させるので、触媒を加えると反応熱の絶対値も小さくなる。
4. 反応速度定数は温度とともに変化するが、反応物の濃度にはよらない。
5. 反応物の濃度が2倍になれば、反応速度は常に2倍になる。
6. 大きな発熱をとともなう反応ほど、反応速度が大きいとは限らない。